



藤木小だより

学校教育目標 自ら考え 心豊かて 自立する子どもの育成

〒808-0071 若松区今光一丁目18番1号 TEL 791-2731 FAX 791-2732

校長 外山 典子



今年のカレンダーが残り 1枚になりました。

今年残すところあと3週間と数日となりました。今年皆様にとってどのような年でしたか。

今年を振り返ると、コロナ禍が続いていることに憂いながらも 藤木小学校では活気づいているなど感じられることがいろいろな場面でありました。そして既に来年度への計画、準備も始まっています。新1年生に対する「就学時健康診断」をはじめ、来年度のクラス数や行事の日程を考えているところです。



◎ 黒田征太郎氏が来校されます。

12月15日(木)、16日(金)の2日間、世界的に有名なイラストレーター、画家である黒田征太郎氏が本校にお見えになります。

韓国、中国、日本をリモートでつなぎ、黒田氏のライブパフォーマンスを3か国同時に行おうという企画です。その日本代表として藤木小学校の3年生が選ばれました。

昨年、東アジア文化都市交流という事業を北九州市が行いました。その時に選ばれたのが、昨年度まで私が勤務していた竹末小学校でした。この時の様子がドキュメント番組(ナレーターは女優の黒木瞳さん)になりました。好評で市長さんが「今年度は文化都市交流の指定は受けていないけれど、また行いたい」と言われ、有難いことに本校に白矢が当たった訳です。

体育館で3年生が黒田氏の授業を受けます。

1日目は4分間でテーマに沿った絵を描きます。上手に描こうなんて思わずに、ゲームのように楽しんでもらいます。2日目は、他の国の人たちが描いたものに色を付けます。

先日、3か国の紹介VTR作成のために東京からTV制作会社(「旅サラダ」「美の巨人」など)の方が来校され、3年生の学校生活の様子を撮影されました。本番当日は、5分間にまとめ、韓国・中国の子どもたちに紹介して下さるそうです。

◎ 全国教育美術展において

北九州市1位に。

11月の初旬に審査がありました。このコンクールに向けて図画工作科主任の安元教諭を中心に9月から計画的に各学年が作品づくりに取り組みました。藤木小は、入賞する児童が多く、なんと北九州市1位に。



「学校賞」をいただくことになりました。2月に大きな賞状が学校に届くそうです。賞を受賞した作品だけが素晴らしいのではなく、学校全員が真剣に作品づくりに取り組んだ結果だと言えます。



◎ 3月までに

学校中に作品を展示していきます。

11月~12月の初旬にかけて絵画、版画コンクールが3つほどありました。

一つは先程の「全国教育美術展」二つ目は「福岡県児童画展」三つ目は「日専連版画コンクール」です。3月までには作品が戻ってきます。しかし、全国教育美術展での特選、入選作品は東京の方に送られていますので残念ながら戻ってきません。

戻ってきた作品は今後の作品づくりへの参考となるように、日頃から鑑賞をしてもらいたいと思います。全コンクールからの作品の戻りがあるのは2月末です。そこで、3月には学校の廊下に作品を展示して行きます。1年間、展示させてもらおうと考えています。

◎ サッカー、ワールドカップから。

つつい見ってしまうワールドカップ。ドイツ対スペイン、スペイン対日本戦と2回、4時から観戦してしまいました。さて、今夜はクロアチア戦、観戦したいけれど時間帯が問題ですね。ところで、ロッカールームをきちんと片付ける日本選手のマナーが素晴らしいと話題になっています。また日本人観戦者もごみを拾うと評判に。当たり前のことを当たり前に行う、私達だと靴や雑巾をきちんと揃えて置く、椅子を入れるなどをすることかな。見習いたいものです。